

令和6年3月(弥生)

宇波公民館だより

令和6年3月1日発行
氷見市宇波公民館
氷見市宇波401番地
Tel(0766)78-1503

災害ボランティアの支援に感謝!

2月10日(土)、旧宇波小学校にあった能登半島地震で出された「災害ゴミ」の整理分別を行いました。宇波地区内から26人、更に長野県から来た「チームながでん」の災害ボランティア24人の協力をいただき、木くずやガラス片、廃家電など13種類に整理分別しました。

* * * * *

この災害ボランティアは、令和7年「阪神・淡路大震災」で全国から137万人余りのボランティアが被災地



へ駆け付け、「東日本大震災」等を通して定着していったものです。

今回の災害では、氷見市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、全国からボランティアを受け入れ、被災した方々の支援を行っているものです。

* * * * *

この「チームながでん」の他にも、「おてら災害ボランティアセンター」や「国際ボ



ランティア学生協会」の皆さんが、宇波地区の被災家屋の整理・片付けや応急手当等の支援をしていただいています。本当に感謝、感謝です!

この他にも、たくさんの支援物資をいただいております。これらは民生委員の方々に一人暮らしの高齢者宅などへ配布していただきました。

市道宇波脇方線側溝改修工事

現在、宇波郵便局前の側溝改修工事が進められています。

この道路は市道宇波脇方線で、かつては「宇波銀座?」と云われる村のメイン道路でした。今回の工事により、側溝に蓋がつけられ、これまでより少し広い道になるようです。



3月の公民館講座

講座名	実施日
茶道	3日(日)・10日(日)
生花	11日(月)・25日(月)
100歳体操	毎週火・木曜日 (第2木曜を除く)
ぱわーきつず	14日(木) 入園お祝い会
瓢箪同好会	4日(月)・18日(月)
手芸講座	編み物 9日(土) クラフト 23日(土)
ダンス教室	毎週火曜日 PM7:00

今月の外出支援バス

- ①3月1日(金)
- ②3月15日(金)



外出支援バスを利用したい高齢者の方は、お気軽に各地区の民生委員にご相談ください。

宇波住民研修会「富山ゆかりの明治時代の経済人」

2月18日(日)宇波公民館で、富山県民生涯学習カレッジ「自遊塾出前講座」を利用して、住民研修会を開催しました。

この自遊塾出前講座は、ボランティア講師「県民教授」が企画する講座で、県民に学習する機会を提供し、今年で29年目になるそうです。

この日は、県民教授の鈴木康裕氏による「富山ゆかりの明治時代の経済人」と題して、郷土出身の浅野総一郎と安田善次郎の出世・成功物語についてお話していただきました。



講演では、氷見市藪田での浅野の生い立ちから、大商人を夢見たが失敗を重ね、東京へ出てようやく彼の持つ熱意から成功をおさめたことなど、まさに「九転十起」の人生だったとのお話しでした。また、「公衆便所の創設」などの多くの公益事業を手掛け、日本の産業の礎を築いたことも紹介していただきました。

浅野を支えた妻サクの「内助の功」など、アッと云う間に過ぎた60分間でした。

小境恵比寿神社の巨木(関一朗・星場幸美)

小境恵比寿神社(魚取社)には、ニレ科のエノキの巨木が社殿のすぐ後ろにあります。崖になっているため正確な幹回りが測れませんが、直径1メートルを超え、高く扇形に枝を広げた立派な巨木です【注】。

エノキの名前の由来は、枝が多く広がることから「枝の木」と呼ばれたこと、また一里塚の創設者と云われる織田信長が「塚には余の木(ヨノキ)を植えよ」と言ったのを、家来がエノキと聞き間違えたとも云われています。他にも、徳川家康が「一里塚にはエエキ(良い木)を植えよ」と言ったのを、家来がエノキと聞き間違えたなど、多くの説があるようです。



エノキから少し離れた高台には、根元周長4.0m、幹周3.6mのタブノキの巨木があります。

この神社の狛犬は、少し変わっていて、子孫繁栄・家運隆盛を願う「子取り玉取り型狛犬」となっています。基壇の裏には、「平成21年5月・寄進 大谷内源三」と彫られています。氷見市内には、魚取社が12社あり、うち6社に狛犬があり、そのうち2社が子取り玉取り型狛犬です。



【注】『氷見の巨木』(1999年氷見市教育委員会刊)によれば市内で3番目となっていますが、伊勢玉神社の大エノキが伐採されたので、愛宕神社のものについて2番目の巨木です。

開館日時：毎週 月・火・木・金曜日の午前9時から午後5時まで
(休館日 毎週水・土・日曜日)

※ なお、休館日でも事前にご連絡いただければ開館しますので、お気軽にご相談ください。☎(ファックス)78-1503 宇波公民館(荻野直樹)